



# 環境省から一般廃棄物処理事業実態調査の結果が公表されました

一般廃棄物処理事業実態調査（令和2年度実績）の調査結果が環境省から公表され、長野県の1人1日当たりのごみ排出量は807グラムとなりました。

## 1 調査概要

環境省は都道府県を通じて市町村に照会し、全国の家などから排出される一般廃棄物の量や処理状況について、毎年その実態を調査しています。

※調査結果は、以下の環境省ホームページからご覧いただけます。

環境省廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理事業実態調査結果

[http://www.env.go.jp/recycle/waste\\_tech/ippan/index.html](http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html)

## 2 調査結果

長野県の1人1日当たりのごみ排出量は、生活系ごみは増加したものの、これまで増加傾向にあった事業系ごみが減少に転じ、令和元年度実績と比べて9グラム減り807グラムとなりました。

## 3 県の取組

長野県の1人1日当たりのごみ排出量は順調に減少しておりますが、「長野県廃棄物処理計画（第5期）」で目標に掲げる「1人1日当たりのごみ排出量790グラム（令和7年度）」の達成を目指し、以下の取組を進めます。

### (1) 信州プラスチックスマート運動の推進

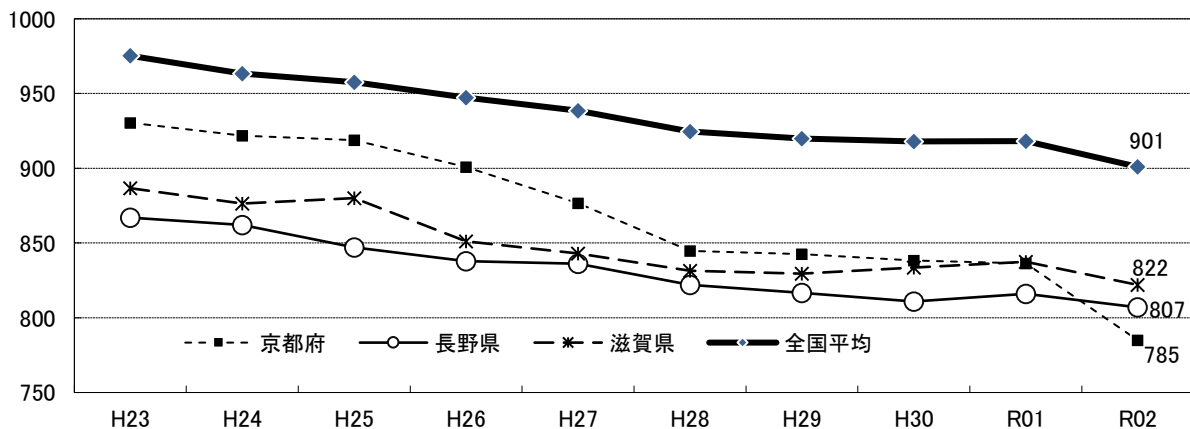
- ・3つの意識した行動の呼び掛け（意識して「選択」・少しずつ「転換」・分別して「回収」）
- ・協力事業者の登録促進等

### (2) 食品ロス削減の推進

- ・食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～  
（残さず食べよう！30・10運動、信州発もったいないキャンペーン等）
- ・未利用食品の提供の呼び掛け（フードドライブの開催等）

[参考] 過去10年間のごみ排出量の推移（全国平均とごみ排出量が少ない都道府県トップ3）

排出量(グラム/人日)



信州版「新たな日常のすゝめ」



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

環境部資源循環推進課資源化推進係・廃棄物政策係  
 (課長) 滝沢 朝行  
 (担当) 中谷 俊禎 杉浦 糧 帯刀 太基  
 電話：026-235-7187 (直通)  
 026-232-0111 (代表) 内線 2796  
 FAX：026-235-7259  
 E-mail [junkan@pref.nagano.lg.jp](mailto:junkan@pref.nagano.lg.jp)